

第34回ひなまつり展/懐かしいむかしの道具展

ひなまつり展では当館所蔵の「永徳齋作有職雛一式」(中之条町指定重要文化財)や、江戸時代の享保雛・古今雛、明治から近現代のひな人形などを展示します。

永徳齋作有職雛一式



人形師・永徳齋は東京日本橋で人形店を構え、明治・大正・昭和にかけて、初代から3代の活躍が知られています。中之条町出身の河野義こうの様が然る宮家からいただいた優品です。有職雛とは、宮中で生活していた装束をもとにつくられたひな人形です。平成18年(2006)3月に中之条町重要文化財に指定されました。



永徳齋作内裏雛

「懐かしいむかしの道具展」は、昭和に使われた道具を展示します。黒電話、蓄音機、録音機など実際に体験できるコーナーを設けています。



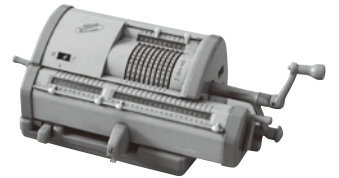
茶の間の風景

昭和30年代、「お茶の間」では家族が「ちゃぶだい」を囲んで食事をしました。皇太子様御成婚の中継を見るため、白黒テレビが一般家庭にも普及しました。当時はテレビ・洗濯機・冷蔵庫を「三種の神器」と呼びました。



黒電話

ダイヤル式の電話です。交換手を通さずにダイレクト通話が可能になりました。



タイガー計算機

手でハンドルを回すことにより内部の歯車を回転させて計算動作を行います。



録音機

オープンリール式の録音機です。後にカセット式録音テープに小型化されました。



手回し洗濯機

容器の中に洗濯物・洗剤・熱湯を入れてから、ハンドルで容器を回転させて洗います。

